



2 月 号

令和5年1月31日

横浜市立東中田小学校

校長 中島 早苗

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 今年度のまとめの時期になりました

副校長 阿久井 勲

一年で最も寒い時期とされる大寒となり、先週は大寒波がやってきて厳しい寒さになりました。2月4日に立春を迎えますが、待ち遠しいのが暖かい春です。子ども達は休み時間になると寒さなど関係なく、鬼ごっこやドッジボールをして楽しんでいます。

今年度も残すところ2か月となり、1年間の学習のまとめに取り組む時期となりました。そして、子ども達の意識の中にも、もうすぐ卒業・進級の時期を迎えるのだという自覚が芽生えているように感じます。私たち教職員も1年間を振り返り、教育活動の成果や課題を明らかにしてまとめるとともに、次年度に向けての準備をスタートしています。子ども達、保護者、地域の方へのアンケートや中田中学校区学校運営協議会を通して、皆様から広くご意見をいただいたことを真摯に受け止めて、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。

1年間の振り返りにもありましたが、子ども達を取り巻く環境は、人との関係を築いていくのに難しい時代となっています。様々な要因が良好な仲間づくりを妨げていると言われてはいますが、特に携帯電話、スマートフォン、ゲーム機など「もの」や「機械」と関わる時間が多く、「人」と関わる時間や場が新型コロナウイルス感染症によりさらに少なくなったことがあると思います。

学校は、同年齢、異年齢の子ども達が集まり、様々な場面で人と交流する場でもあります。学校では、子ども達がお互いの気持ちを考え、思いやりをもてる関係づくりを後押ししています。人との関わりの中で、心がふれ合う喜びや協力したときの充実感をもつこともあれば、自分の思い通りにいかず葛藤やあきらめといった感情を抱くこともあります。時には、けんかをして相手を傷つけてしまう言葉が出てしてしまうこともあります。子どもは、人を傷つける言葉を言うことがいけないことは、分かっています。そんな時に「どうして言ってしまったのか」「本当はどうしてほしかったのか」「これからどんなふうにしていきたいのか」という思いを言葉にして他者へ伝えていくことを学んでほしいと思います。子どもの思いを受け止め、導いていく大人の存在が、他者への信頼をうみ、子どもの心を育てていきます。子どもがピンチの時こそ、周りの大人がつながることが大切です。「いじめ」や学校生活でお困りのことがありましたら、担任や児童支援専任までご相談ください。子どもの様子に心を寄せて見守っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

東中田小学校 学校教育目標

自ら かがやく、ともに かがやく